

<定期総会（5/23） 講演会の内容についての質問への回答>

ご質問をありがとうございました。

先生方が既に取り組まれていることもたくさんあると思うのですが、以下に回答をさせていただきます。さらにご質問がございましたら、遠慮なくご連絡ください

1) 感情調整が苦手な児童への良い手立てについて詳しく教えていただきたいです。通常学級で、診断を受けていない児童についてです。危険な行動（叩く・蹴る・投げる・飛び出す）を起こしている場合、不安と混乱からその行動が生まれていると理解したのですが、当該児童や他の児童の安全を図るために、まずは、どのような支援を行うことが有効か教えてください。

まずは、当該児童が不安や混乱を感じる場面がどのような状況かを具体的に把握されると良いと思います。例えば、授業中に挙手しても自分の希望するタイミングであててもらえないときにイライラしている、宿題のプレッシャーがある、からかいを受けている、その児童にとって教室内が騒がしい（聴覚過敏などの可能性）、クラスのルールや期待が明確に理解できずに混乱しているなど、いろいろな要因が考えられます。また、家庭生活や生活習慣（十分な睡眠が取れていない、または身体的に疲れている）なども、日中の行動に影響するので、学校のことを保護者にお話しする際に把握すると良いと思います。行動の予測ができると、対応がしやすくなります。

さらに、把握した状況について、回避や変更が可能かどうか、具体的な本人への支援が可能かどうかを検討します。

- ・授業中に挙手しても自分の希望するタイミングであててもらえないときにイライラする

→「次にあてる」、「授業中に○回あてる」などの見通しを伝える

- ・宿題やテストのプレッシャーがある

→本人の学習の到達度も加味し、保護者と本人と相談の上、宿題は量を減らす、保護者と一緒にするなどが可能かどうかを検討する

- ・からかいを受けている

→からかいに対する対応。本人の気持ちに理解を示した上で、具体的な受け答えの方略を教えるなどが考えられます。研究会でお話したような内容が参考になると思います。学校でソーシャルスキルなどに取り組める場所があると良いのですが。

- ・本児にとって教室内が騒がしい

→教室にずっと居ることがつらい様子なら、静かな場所（図書館など）に行くことを許可する。休み時間に静かな行くように勧めるだけでも、落ち着ける場所ができて安心する可能性があります。

2) 相手の気持ちが読み取れず、文字通りにしか受け取れない自閉情緒学級の児童に対して、効果的な道徳の授業方法を教えていただきたいです。表情カードを使って、主人公の気持ちは視覚化していますが、高学年の資料になると内容も難しくなり、こちらの意図した授業ができません。

自閉スペクトラム症のある方は、言葉の正しい意味や名称を知らないことも多いので、そのような場合には、言葉の意味などを随時確認しながら進めることも役立ちます。他には、以下のような方法が考えられます。

- ・教材は文字だけでなく、使用されている絵カードや写真やなどの視覚的情報を付け加える、イラストにしたり吹き出しを作って漫画風書き込んだりする。
- ・気持ちの読み取りが難しい場合、登場人物の心情を理解するために、役割を交代して動作化や劇を行う
- ・「この場面で〇〇の行動をしたのは、◆◆さんが「～だ」と思っていたからです」と主語を明確にして、状況を説明する
- ・最初から正しい知識を伝える（どうすれば良いかを考えるのではなく、「一般的に、〇〇するのは良いことだ」、それはなぜか、例外もあるかもしれない、いろいろな見方もあるかもしれない、こういう場合にはこれが良いことだ を考えるようにする）

3) 感情調整について、「感情に名前をつける」というのは具体的にはどのようなことでしょうか。

子どもの中に何かの感情が生まれる具体的な場面を経験している時やその場面を想定し、その感情に言葉や文字で名前を付けるようにします。

クッキングが楽しい様子の子に「おいしいね」「楽しいね」

イライラしている様子の子に「〇〇君、今イライラだね」だね「怒っている」んだね、などと伝えたり示したりします。

言語によるコミュニケーションができる子であれば、

「弟にお菓子を取られたときにはどんな気持ち？どんな感じがする？」

「大好きなゲームをしているときは？」

「おなかがすいた時は？」

等と尋ねていく中で、その気持ちは「くやしい」だね。などと確認することができます。自立活動などで取り組む場合には、文字と併せて呈示しても良いかと思います。

言葉によるコミュニケーションが難しい子はもちろん、どのお子さんにとっても表情カードや色カード（青い気分は「不安」、赤い気分は「怒り」など）を使用してどのような表情や色が、どんな感情を示すのかを視覚化することも有効です。（個人的には、2024年夏に公開されたディズニー映画インサイドヘッドのキャラクターなども良さそうかなと感じています）

また、感情の理解や対処法についての取り組む際のワークブックとして、「発達障害の子の気持ちのコントロール」辻井正次（監修） 2018 合同出版 などにも参考になると思います。